

2020年1月 実施 茨木市立西河原小学校 学校教育自己診断

2020年3月 分析・発行

【保護者実施 結果】

番号	各 設 問 内 容	全学年 保護者			集約結果に対するコメント
		肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	無回答(※)	
1	学校は、教育活動や方針などを学校だよりや学年だより、ホームページ等でわかりやすく伝えている。	93%	6%	1%	昨年より、肯定的な評価が上がり、全体的に肯定的な評価を得ています。さらに、改善すべきところは改善し、ホームページ等で発信していきたいと思います。
2	学校は、保護者・地域の願いに応えようとしている。	82%	16%	2%	今後も保護者、地域とのつながりを丁寧に積み重ね、願いに応えられるよう努力していきたいと思います。
3	学校は、家庭への連絡などをきめ細かく行っている。	78%	20%	2%	今後とも災害時、学級閉鎖、子どもたちの安全見守り等の緊急連絡はミマモルメでお伝えしていきます。子どもの様子などは電話連絡、家庭訪問で丁寧に伝えていきます。
4	学校は、いじめの早期発見に関する取り組みを行っている。(心のアンケートなど)	75%	20%	5%	4. 5のいじめに関するアンケート結果は、学校として真摯に受け止めていきたいと思っています。どの学校においてもいじめの事案は起こります。普段からの子どもたちの様子、子ども同士の関係をしっかりと把握し、全教職員で情報を共有し、早期発見、早期対応を組織として取り組んでいきます。また、子どもたちにおいては、クラスの友達に対する些細な嫌がらせ、からかいをはじめとする行為に対して、「それはおかしい」と言える子どもたち、集団を育てていきたいと思っています。
5	学校は、いじめが起きないような取り組みを行っている。(特別活動や学級活動、道徳)	75%	21%	5%	
6	学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	78%	20%	2%	学校教育目標における、子どもたちに豊かな心と自分の夢に向かっていく考えを育てることを、人との出会いを大切にしながら、道徳、総合的な学習の時間等で取り組んでいきます。
7	学校は、いのちを大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	81%	16%	4%	道徳、総合的な学習の時間(子どもの実態に応じた人権学習)を通して、命を大切にす心育てていきます。社会のルールは、様々な学校生活や体験の積み重ねの中で育てていきます。
8	学校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	78%	19%	3%	上記6. 7に同じです。
9	学校は、子どもに様々な困難を乗り越えることができる「生きる力」を育てようとしている。	71%	25%	4%	自分のことがすき、自信がもてるという自尊感情を育てることが、困難に向き合う生き方のベースとなります。子どもたちの自尊感情を学校生活の様々な場面で育てていきます。
10	学校は、子どもに体力がつくような取り組みを行っている。	88%	12%	1%	本校では、子どもたちの体力がつくように、年間を通して体力づくりの取り組みを行っています。子どもが楽しんで参加できる活動を、これからも体育委員会が中心となって取り組んでいきます。
11	学校は、子どもに読む力を育むため、読書活動や学校図書館の充実に努めている。	86%	12%	1%	子どもたちにとって読書との出会いは、興味、関心の心を育て、読解力のベースとなります。今後も図書館整備、子どもたちによる図書館活動の充実に努めていきます。
12	学校は、保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	95%	5%	0%	今後も学校での子どもたちの頑張っている様子、授業、クラス、学校の様子を見ていただく各学期の授業参観、懇談を設け、開かれた学校づくりに努めていきます。
13	学校は、子どもが保護者や地域の方々と交流する機会を設けている。	90%	9%	1%	子どもたちは、保護者、地域の方との出会い、交流の積み重ねの中でたくさんの学びを得て、育っていきます。今後も人との出会いを大事にしていきます。
14	学習内容について、学年だよりや懇談などによって知ることができる。	97%	2%	1%	主に学年だよりで、学習する内容をお知らせしています。懇談では、普段の子どもたちの様子や学習の頑張りを伝えていきます。
15	運動会などの学校行事は、子どもが意欲的に参加できるように工夫されている。	85%	14%	1%	運動会をはじめとする学校行事の主役は、子どもたちです。子どもたちが意欲をもって参加できるよう、子どもたちの実態に応じた行事を今後とも取り組んでいきます。
16	災害時の対応について、児童や保護者にその際の訓練が行われ、周知されている。(児童引き渡し訓練など)	92%	6%	1%	一昨年6月、私達は大きな地震を経験しました。この経験を基に避難訓練、引き渡し訓練の充実に取り組んでいきます。また、地域主催の自主防災訓練への参加も呼び掛けていきます。
17	学校の施設・設備には満足している。	76%	24%	0%	まだまだ改善すべき施設、設備の箇所は多くあります。エレベーター工事も終わり、4月からはエレベーターを必要とする人に使えるようになります。今後とも子どもたちにとって必要な改善は市と連携し進めていきたいと思っています。
18	先生は、子どもの能力や達成度を適正に評価している。	86%	11%	3%	教職員は日々、様々な学校生活の中で、子どもたちの頑張りを、達成度を把握し、評価する努力をしています。今後も、その努力を積み重ねていきます。
19	あゆみには子どもの学力や達成度がわかりやすく書かれている。	84%	14%	3%	あゆみは、子どもたちの学力、達成度を載せています。あゆみでは伝わらない子どもたちの頑張りの達成状況については個人懇談等で丁寧に伝えていきます。
20	先生は、子どものことについての相談に応じてくれる。	90%	9%	1%	全教職員で、本校の子どもたちを見守ることを大切にしています。子どもの相談については、まず担任が窓口となり、その後状況に応じて管理職も含めて相談に応じていきます。
21	先生は、子どもをよく理解してくれている。	86%	12%	2%	上記20と重なりますが、全教職員で普段からの子どもたちの声、つぶやきに耳を傾け、子ども自身が心を開いて話ができる信頼関係を大切にしています。
22	子どもは、「授業がわかりやすい」と言っている。	85%	14%	1%	昨年より、ご家庭の子どもたちが、授業の中でわからないことがあったり、自信が持てない割合が少し減少しました。子たちたちが授業で自信やわかる喜びを感じられるように、そしてわからないときにいつでも聞ける授業改善に努めていきます。
23	子どもは、「学校へ行くのを楽しい」と言っている。	82%	18%	1%	上記22と重なりますが、「学校が楽しくない」と感じている子どもたちの気持ちを受け止め、その子どもたちが頑張れる、居場所を感じられる学校づくりをめざしていきます。
24	あいさつに関して、学校での指導が十分されている。	82%	16%	2%	本校の子どもたちは、登校時、下校時ともにあいさつを頑張っています。学校での指導はもちろんのこと、地域で見守っていただいている方からの声掛け、そして太田中・三島中の生徒によるあいさつ運動の成果も出ていると思います。
25	あいさつに関して、家庭での指導も有効だと感じている。	95%	4%	1%	あいさつは基本的な生活習慣の最も大切なことだと思います。ご家庭での日々、子どもたちへの声掛けほど大きな支援はありません。今後ともご家庭での声掛けをよろしくお願ひ致します。